

# 「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」の実践事例

渡久山 朝一

銚子市立銚子高等学校  
tokuyama-t@nifty.com

## 要 旨

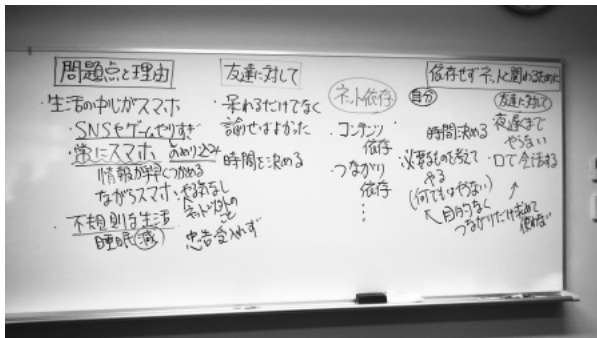
昨年度(平成25年度)文部科学省委託事業である「情報化の進展に伴う新たな課題に対応した指導の充実に関する調査研究」によって、「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」が作成された。その際、二つの教材開発に係り本校情報科の授業(2年次必修修・情報C)で授業実践に協力したので、この実践事例を紹介する。

### 1. 授業実践について

モデル授業案をもとに、本校の授業時間(1コマ45分)と生徒の状況に合わせて修正を行い、実践している。

授業実践は2月に行い、モデル授業案になるべく沿う形で構成した。生徒個々で考えるだけでなく、グループやクラス全体で意見を共有し考えることも重視している。

意見の共有方法は、生徒の状況のほか教室環境等によっても様々であるが、一般的なコンピュータ教室で特別な手立てなく行える方法として、プレゼンテーションソフトにグループの代表者が入力し、それをスクリーンに投影して全体で共有、要点を板書してまとめとする手法をとった。



### 2. 実践①ーネット依存が及ぼす影響を考えよう

開発教材②：ネット依存-「身近にひそむネット依存」の実践事例である。前時までにネット利用状況についてのアンケート調査を行い、集計結果を提示することから授業が始まる。

#### 2.1 指導の展開と学習活動

流れ	学習活動	指導上の留意事項
導入 15分	<p>○自分のネット利用の実態を知る</p> <p>(1) アンケートの結果を見てどんなことを思ったかワークシートに書き出し、グループごとに共有する。</p> <p>(2) グループで共有した結果を、代表者がプレゼンテーションソフトに入力する。</p> <p>(3) 全体に提示された皆の考えをワークシートに記入し、自分の考えと比較する。</p>	<p>●ワークシートを配布する。</p> <p>●アンケート結果を表とグラフで提示し、結果を読みあげてワークシートに書き込ませる。</p> <p>●入力内容をプロジェクターで全体に提示し、簡潔に板書する。</p>



展開 18分	<p>○動画視聴①</p> <p>「ネット依存」状態の主人公の問題点を見つけ、その理由を考えよう。</p> <p>(1) 「ネット依存」状態の主人公の問題点とその理由、友達がどう対応すれば良かったのかを考えながら動画を視聴し、気づいたことをワークシートに書き込む。</p> <p>○共有と確認</p> <p>(1) グループでワークシート記入内容を共有し、代表者がプレゼンテーションソフトに入力する。</p> <p>(2) 全体に提示された皆の考えをワークシートに記入し、自分の考えと比較する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 課題を的確に伝える</li> <li>• どんなことに気を付けて視聴するのかを伝える。</li> <li>• 入力内容をプロジェクターで全体に提示し、簡潔に板書する。</li> <li>• 入力内容が不明瞭な場合は、指名し、回答させる。</li> </ul>
終末 12分	<p>○動画視聴②</p> <p>解説編動画を、「ネット依存」に関する問題点を整理しながら視聴する。</p> <p>(1) ワークシートに記入した「主人公の問題点と理由」を確認しながら視聴する。</p> <p>(2) 「ネット依存」の種類を知り、最悪の場合どうなるのか理解する。</p> <p>○学習を振り返る</p> <p>(1) ネットと適切に関わるために、自分はどうしたらいいのか考え、ワークシートに記入する。</p> <p>(2) 友達が「ネット依存」になりそうな場合、なってしまった場合に、どう関わっていくのが良いか考え、ワークシートに記入する。</p> <p>(3) 自分が考えたことを発表する。</p> <p>(4) 教師のまとめと次回の予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「ネット依存」の種類を板書し、後で確認できるようにする。</li> <li>• 進学後に一人暮らしを始めた場合など、誰にでも依存のおそれがあることを認識させたうえで考えさせる。</li> <li>• 適宜指名し、考えたことを1つ発表させる。</li> </ul>

## 2.2 事後指導

ほとんどの生徒が学習・部活動・ネット利用を適切に切り分けている状態であると事前アンケートにより読み取れた。そのため、進路決定後、とくに大学進学後に一人暮らしを始めた場合の危険性を強調し、「ネット依存」は誰にでも身近な問題である事を認識させるよう努めた。

## 3. 実践②ーネットショップやコンテンツを利用するときの注意点

開発教材④：ネット被害-「ネット詐欺などに巻き込まれないようにするために」の実践事例である。ある程度しっかりと扱うには内容が濃いので、解説とまとめを次時に回した。

### 3.1 指導の展開と学習活動

流れ	学習活動	指導上の留意事項
導入 15分	<p>○ネットを利用した物品購入・売買等の状況を知る</p> <p>(1) アンケートの結果を見て、なぜオンラインショップやオークションサイトを利用するのかワークシートに書き出し、グループごとに共有する。</p> <p>(2) グループで共有した結果を、代表者がプレゼンテーションソフトに入力する。</p> <p>(3) 全体に提示された皆の考えをワークシートに記入し、自分の考えと比較する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ワークシートを配布する。</li> <li>• アンケート結果を表とグラフで提示し、結果を読みあげてワークシートに書き込ませる。</li> <li>• 入力内容をプロジェクターで全体に提示し、簡潔に板書する。</li> <li>• 数は少ないが、トラブルに遭遇した者がいることを強調する。</li> </ul>
展開 20分	<p>○動画視聴①ー1(ネット詐欺)</p> <p>この後どんなトラブルに遭遇するか考えよう。</p> <p>(1) 遭遇すると思われるトラブルを予想し、ワークシートに記入する。</p> <p>(2) グループでワークシート記入内容を共有し、代表者がプレゼンテーションソフトに入力する。</p> <p>(3) 全体に提示された皆の考えをワークシートに記入し、自分の考えと比較する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 視聴後に、課題を的確に伝える。</li> <li>• 入力内容をプロジェクターで全体に提示し、簡潔に板書する。</li> <li>• 入力内容が不明瞭な場合は、指名し、回答させる。</li> </ul>

終末 10分	<p>○動画視聴①-2  (1) 続きの動画を視聴し,発生したトラブルを確認し,自分達の予想と比較する。</p> <p>○動画視聴②(サクラサイト)  ※動画視聴①と同様の内容を繰り返す。</p> <p>○トラブル回避の方法を考える  (1) 「トラブルを回避するにはどうしたら良かったのか」,「トラブルに巻き込まれてしまった時,どう対処すれば良かったのか」を考え,ワークシートに記入する。  (2) ワークシートに記入した「トラブル回避方法」を発表し,板書内容をワークシートに記入する。  (3) 教師のまとめと次回予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 適宜指名し,考えたことを1つ発表させ,簡潔に板書する。</li> <li>• 次回に「解説編動画」を視聴すること,トラブル回避・対策方法を学習することを示し,自分でも考えたり調べたりしておくように指示する。</li> </ul>
-----------	---	---

### 3.2 事後指導

解説とまとめを次回に残したことで,トラブルへの対処法をよりしっかりと考えたり,ネットで調べたりした生徒もあり,効果が高まったように思う。まとめの授業では,解説編動画にはなかった点(巧妙化するワンクリック詐欺サイト・不正請求への対応方法など)を補足した。

---

文部科学省 情報化社会の新たな問題を考えるための児童生徒向けの教材, 教員向けの手引書  
[http://jouhouka.mext.go.jp/school/information\\_moral\\_manual/](http://jouhouka.mext.go.jp/school/information_moral_manual/)